

他者の作成課題から新たな視点を受け入れて検討しようとする態度の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立東播工業高等学校 中山 輝昭

本時の目標 ・測量士補試験問題演習で得た地図情報を読み取る知識や技能を用いて地図情報読み取りのオリジナル問題を作成する。 ・作成した問題を発表し、意見を収集して難易度の高い問題になるよう改善する。	校種・学年	高等学校・2年
	教科・領域	工業
	アプリ・ソフト	・Google ドキュメント ・Google フォーム
	備考	

○本時の展開

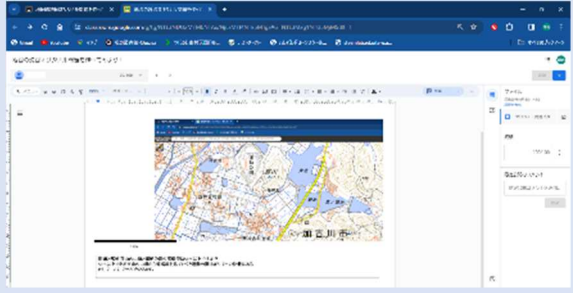
	○学習活動（◆指導上の留意点）
導入	○クイズサイトアプリにアクセスし、地図記号の問題に答える ◆Classroomで配信されたURLよりサイトアプリにアクセスし黒板に提示されたPINを入力して地図記号クイズ(10問)を全員で答える。 ○本時の目標を確認する。 〇オリジナル問題を作成して共有する。
展開	○学校周辺の地図を添付したワークシートに、各自で問題を作成する。(解答解説を含む) ○生徒が提出した課題を投影し、問題の概要及び作成意図を発表し、共有する。
まとめ	○提出された課題をすべての生徒が閲覧できるように配布する。他者の作品課題に目を通し新たな気づき、視点を受け入れ検討する。 ○評価アンケート(Google フォーム)を記入。

育成できる情報活用能力

◎正答率によって参加者内の相対的な理解率が分かることで授業間の切り替えが得意でない生徒もスムーズに授業へ入ることができる。

育成できる情報活用能力

◎デジタルデータで資料配布を行うことで地図の拡大縮小が容易。確認したい個所の詳細を確かめながら課題に取り組むことができる。



生徒の感想
・測量士補試験の問題は日本全国の地図が扱われており、馴染みのない地区の読図問題に取り組んできたが、学校周辺の地図であること、また私たちが問題を作成する立場になってみて出題者の意図を理解し、試験対策及び測量における地図の本質を理解することができた。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・課題作成にあたり地図情報読図スキルはもちろんのこと、グループ内で作成課題を教えあったり、評価しあったりすることで深い学びにすることができる。
- ・出題者の立場になって考えることで測量における地図利用の本質を理解することができる。